2027年3月期 第2四半期（中間期）
決算説明資料

株式会社ルネサンス

2026年11月10日

（東証プライム市場：2378）

決算ハイライト

売上高・利益ともに前年及び計画を上回って推移

売上高：**335億円**（前期比+5.8%）、営業利益：**8億円**（前期より+7億81百万円）

・**スポーツクラブ及びその周辺事業**：2025年10月に実施した価格改定による会費単価の上昇、
2026年7月に実施したスポーツクラブの事業譲受により増収増益。
・**ホームフィットネス事業**：主にTV通販において主力商品の需要が一巡したことに伴い、減収減益。
・**介護リハビリ事業**：2025年12月、2026年4月に実施したM&A・事業譲受により、増収増益。

上期の進捗及び下期の見通しを踏まえ、通期業績予想を上方修正

売上高：**685億円**（前期比+5.5%）、営業利益：**24億円**（前期比+53.5%）

スポーツクラブ事業において、2026年10月の価格改定を実施。収益への寄与を見込む。

目次

１．2027年3月期 第2四半期（中間期）決算概要　‥ 3

２．2027年3月期 第2四半期（中間期）セグメント別業績　‥ 8

３．通期見通し　‥ 19

４．中期経営計画の進捗状況　‥ 21

1．2027年3月期 第2四半期（中間期）決算概要

連結損益計算書

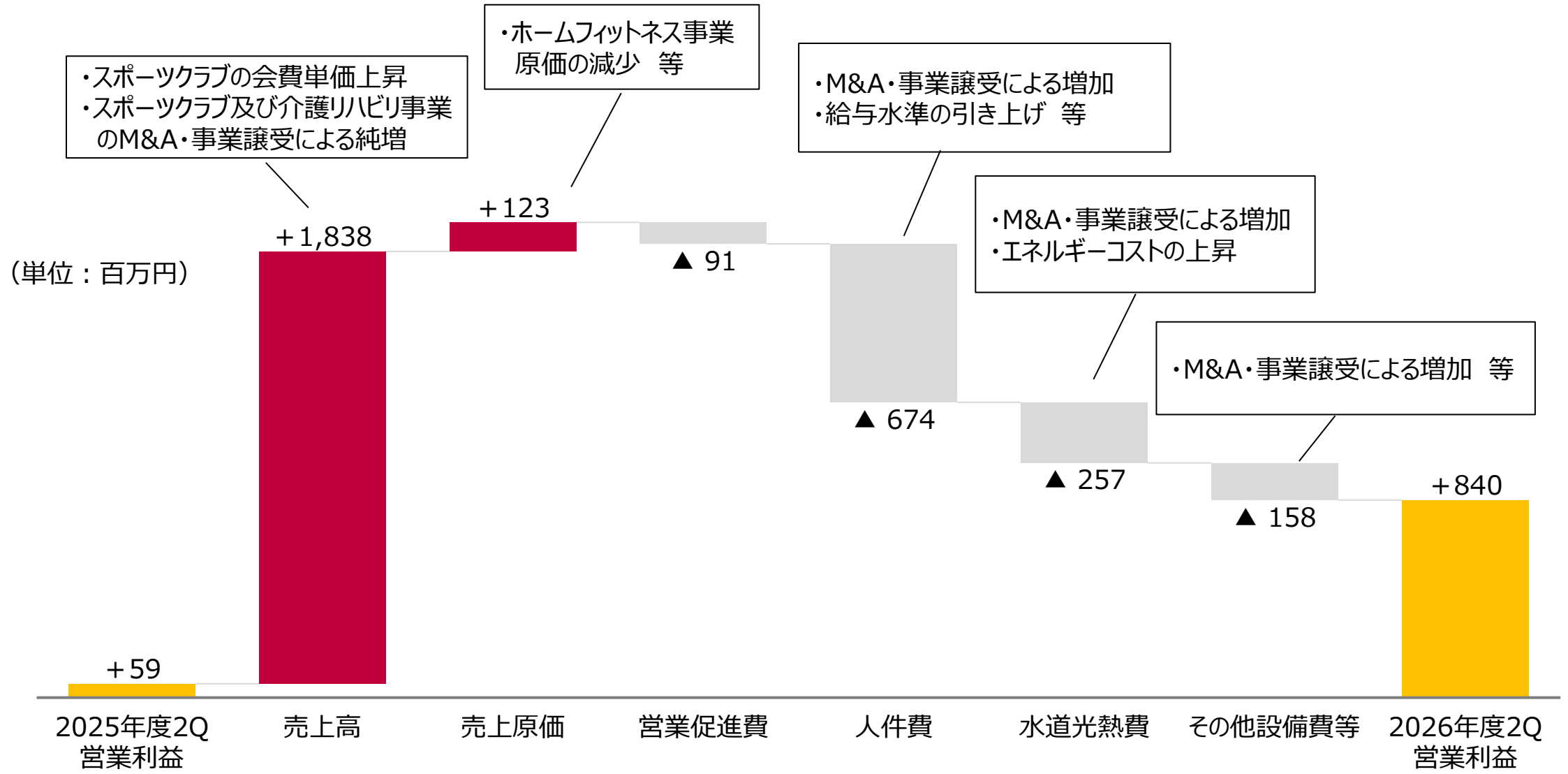
《売上高》
●2025年10月に実施したスポーツクラブの価格改定効果の継続寄与、2026年7月に実施したスポーツクラブの事業譲受、介護リハビリ事業における、2025年12月及び2026年4月のM&A・事業譲受等により増収。

《営業利益》
●事業譲受に伴う初期費用の発生、人件費・設備費等の増加はあるものの、全社的なコストコントロールにより増益。

（単位：百万円）

連結	2026年3月期 中間期	2027年3月期 中間期	前期比	業績予想	業績予想比
売上高	31,702	33,541	+5.8%	33,000	+1.6%
営業利益	59	840	–	700	+20.1%
経常利益	▲348	416	–	250	+66.5%
親会社株主に帰属する中間純利益	24	176	+618.0%	100	+76.5%

連結営業利益 増減要因（前年差）



連結貸借対照表

（単位：百万円）

		2026年3月期末	2027年3月 中間期末	前期末比	増減の主な要因
	流動資産	14,112	13,702	▲2.9%	
	固定資産	42,928	43,706	+1.8%	スポーツクラブの事業譲受に伴う 建物及び構築物の増加等
	繰延資産	2	1	▲28.6%	
資産合計		57,043	57,410	+0.6%	
	流動負債	17,360	17,514	+0.9%	
	固定負債	29,993	30,182	+0.6%	
負債合計		47,354	47,697	+0.7%	
純資産合計		9,689	9,713	+0.2%	
負債純資産合計		57,043	57,410	+0.6%	

連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	2026年3月期 中間期	2027年3月期 中間期	2027年3月中間期の主な内容
営業活動によるキャッシュ・フロー	▲ 95	1,748	税金等調整前中間純利益、減価償却費の増加、補償金の受取等
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 2,120	▲ 2,830	スポーツクラブ事業の事業譲受に伴う有形固定資産の取得による支出等
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,476	936	短期・長期借入による増加、長期借入金及びリース債務の返済による支出等
現金及び現金同等物の換算差額	22	0	
現金及び現金同等物の増減額	281	▲ 144	
現金及び現金同等物の期首残高	7,680	8,570	
現金及び現金同等物の期末残高	7,962	8,426	

２．2027年3月期 第2四半期（中間期）
セグメント別業績

連結セグメント情報

当連結会計年度より、報告セグメントをスポーツクラブ運営事業単一から変更。

スポーツクラブ及びその周辺事業： スポーツクラブの運営、公共・民間施設の運営受託、自治体及び企業・健康保険組合向け健康づくり支援、アウトドアフィットネス等

ホームフィットネス事業： 家庭用運動器具、美容器具、サプリメント等の開発・販売

介護リハビリ事業： リハビリ特化型デイサービス・通所介護施設の運営、機能改善支援

（単位：百万円）

	売上高			セグメント利益		
	2026年3月期 中間期	2027年3月期 中間期	前年差	2026年3月期 中間期	2027年3月期 中間期	前年差
スポーツクラブ及びその周辺事業	28,475	29,957	1,481	1,308	2,451	1,142
ホームフィットネス事業	2,100	1,782	▲ 317	553	332	▲ 220
介護リハビリ事業	1,126	1,801	674	▲ 42	▲ 11	31
調整額（※）	－	－	－	▲ 1,760	▲ 1,932	▲ 171
合計	31,702	33,541	1,838	59	840	781

※調整額には、のれん償却額及び各報告セグメントに配分していない全社費用（主に報告セグメントに帰属しない一般管理費）を含む。

連結部門別売上高

（単位：百万円）

	2026年3月期 中間期	構成比	2027年3月期 中間期	構成比	前期比
フィットネス部門計	14,280	45.0%	14,931	44.5%	+4.6%
スイミングスクール	6,657	21.0%	6,961	20.8%	+4.6%
テニススクール	2,171	6.9%	2,289	6.8%	+5.4%
その他スクール	870	2.8%	879	2.6%	+1.0%
スクール部門計	9,699	30.6%	10,131	30.2%	+4.4%
ショップ部門計	501	1.6%	533	1.6%	+6.4%
その他収入計（レンタル・ロッカー等）	2,517	7.9%	2,730	8.1%	+8.4%
スポーツクラブ周辺計（PPP、自治体及び企業・健康保険組合向け健康づくり等）	1,475	4.7%	1,630	4.9%	+10.5%
スポーツクラブ及びその周辺事業	28,475	89.8%	29,957	89.3%	+5.2%
ホームフィットネス事業	2,100	6.6%	1,782	5.3%	▲15.1%
介護リハビリ事業	1,126	3.6%	1,801	5.4%	+59.9%
売上高合計	31,702	100.0%	33,541	100.0%	+5.8%

※当連結会計年度より、当連結会計年度より、報告セグメントの変更に伴い、区分及び各区分に含む事業内容を一部変更。
前中間連結会計期間についても変更後の内容に基づき組替えを行ったものを記載。

スポーツクラブ及びその周辺事業　スポーツクラブ会員数

フィットネス会員は6月以降の新規入会の鈍化の影響等により前年から減少、スクール会員はすべての種別が前年から増加。当中間期における新店‥７施設、2025年10月～2026年９月における退店‥６施設。

（単位：名）

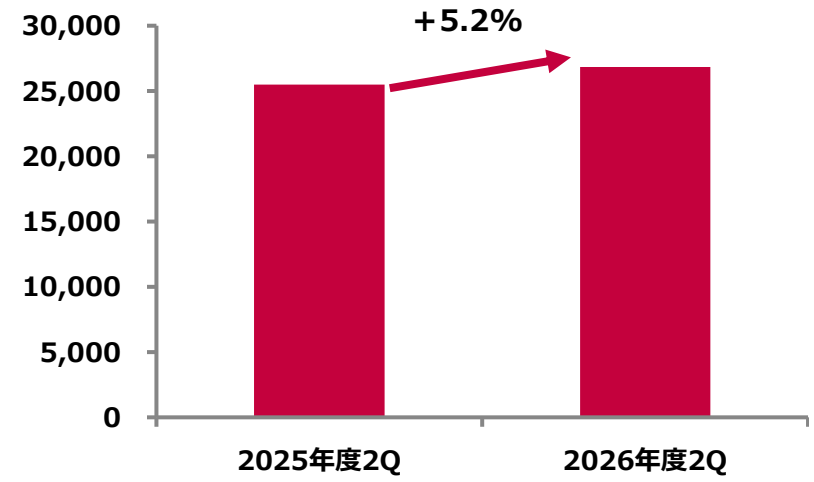
	2026年3月期 中間期	構成比	2027年3月期 中間期	構成比	前期比
フィットネス計	262,437	57.7%	260,709	57.2%	▲0.7%
スイミングスクール	132,787	29.2%	135,218	29.7%	+1.8%
テニススクール	35,070	7.7%	35,186	7.7%	+0.3%
その他スクール	24,190	5.3%	24,801	5.4%	+2.5%
スクール計	192,047	42.3%	195,205	42.8%	+1.6%
会員数合計	454,484	100.0%	455,914	100.0%	+0.3%

※国内及びルネサンスベトナムの直営スポーツクラブ会員数

スポーツクラブ及びその周辺事業　スポーツクラブ既存店動向

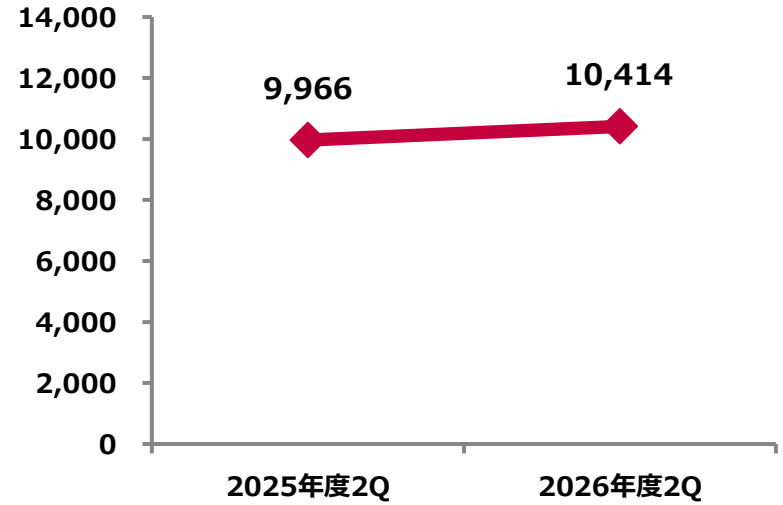
売上高

(単位：百万円)



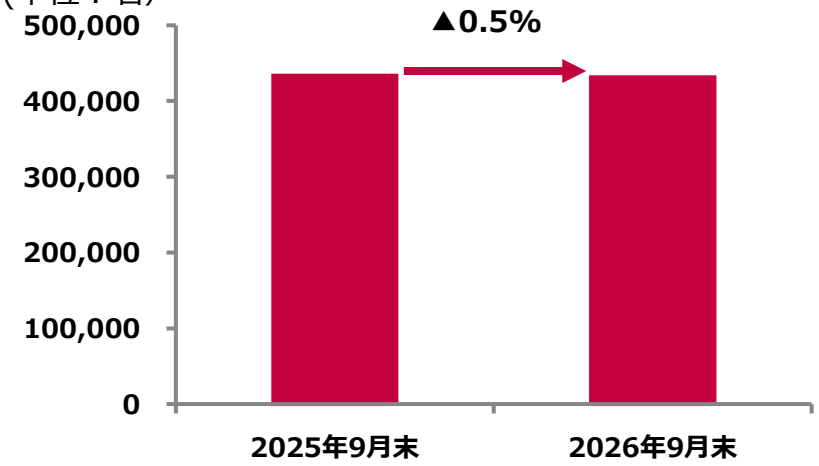
会員単価（中間期累計）

(単位：円)

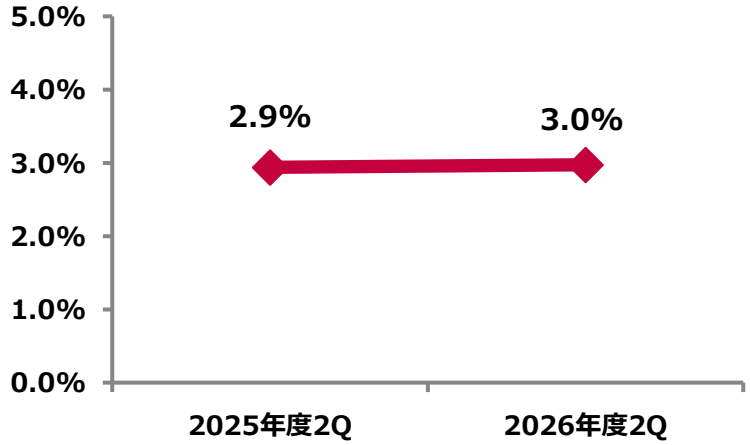


9月末会員数

(単位：名)



退会率（中間期累計）



スポーツクラブ及びその周辺事業　トピックス

東急スポーツシステムよりスポーツクラブを事業譲受し、７店舗の運営を開始（7月～）

首都圏の店舗基盤を東急沿線に拡大





香川県三豊市、福岡県福岡市、福岡県古賀市にて、合計５つの公共施設の運営を開始（4月～）





中城村教育委員会及び琉球大学教育学部と「学校水泳のアップデートに向けた産官学共同研究協定」を締結



「泳ぐ・浮く・潜る」を通じて命を守る力を育む、持続可能な学校水泳モデルの構築へ

ホームフィットネス事業　トピックス

EC販売

主力商品の「ステッパー」シリーズが、計画及び前年実績を上回って好調に推移



新商品「スタイリーフェイスpetit（プチ）」も好調な売れ行き





TV通販

主力商品の需要が一巡し、売上高・利益ともに計画を下回って推移

新商品の販売計画の前倒しと既存商品のリニューアルを順次推進

座ったまま
足踏み運動できる
「ふみころん」
（8月販売開始）



介護リハビリ事業　トピックス

レーベンコミュニティよりリハビリ特化型デイサービス５施設を譲り受け、「元氣ジム」として運営を開始（４月～）

埼玉・千葉に拠点を拡大。双方の理念とサービス特性を活かしてご利用者のQOLの改善に取り組む









2025年12月に完全子会社となった「楓の風」とのグループ連携を推進

双方の品質向上及び楓の風のノウハウを活かした「元氣ジム」の運営効率化を目指す

楓の風
全国に通所介護施設**36施設（直営13/FC23）**を運営。
比較的介護度の高いご利用者の支援も行う。





2027年3月期 中間期 出店・新規開設実績

出店・開設時期	施設名	所在地	種別
2026年　4月	ルネサンス 元氣ジム五香	千葉県松戸市	介護リハビリ（直営）
2026年　4月	ルネサンス 元氣ジム三郷	埼玉県三郷市	介護リハビリ（直営）
2026年　4月	ルネサンス 元氣ジム浦和	埼玉県さいたま市	介護リハビリ（直営）
2026年　4月	ルネサンス 元氣ジム吉川	埼玉県吉川市	介護リハビリ（直営）
2026年　4月	ルネサンス 元氣ジム柳島	埼玉県草加市	介護リハビリ（直営）
2026年　4月	三豊市総合体育館	香川県三豊市	指定管理
2026年　4月	三豊市緑ヶ丘サッカー場	香川県三豊市	指定管理
2026年　4月	福岡市立東市民プール	福岡県福岡市	指定管理
2026年　4月	福岡市立中央市民プール	福岡県福岡市	指定管理
2026年　4月	古賀市健康文化施設「クロスパルこが」	福岡県古賀市	指定管理
2026年　4月	BEACHTOWN 服部緑地	大阪府豊中市	アウトドアフィットネス（直営）
2026年　4月	アウトドアフィットネス千葉ポートパーク	千葉県千葉市	アウトドアフィットネス（業務受託）
2026年　7月	スポーツクラブ＆スパ ルネサンス・アトリオドゥーエNext青葉台24	神奈川県横浜市	スポーツクラブ
2026年　7月	スポーツクラブ＆サウナスパ ルネサンス・アトリオドゥーエNext二子玉川	東京都世田谷区	スポーツクラブ
2026年　7月	スポーツクラブ＆サウナスパ ルネサンス・アトリオドゥーエNext碑文谷	東京都目黒区	スポーツクラブ
2026年　7月	フィットネスクラブ＆サウナスパ ルネサンス・アトリオドゥーエNext武蔵小山24	東京都品川区	スポーツクラブ
2026年　7月	スポーツクラブ＆サウナスパ ルネサンス・アトリオドゥーエNextたまプラーザ	神奈川県横浜市	スポーツクラブ
2026年　7月	フィットネスクラブ ルネサンス・アトリオライト 白楽24	神奈川県横浜市	フィットネスジム
2026年　7月	フィットネスクラブ ルネサンス・アトリオライト エトモ池上 （ホットヨガ＆ピラティススタジオ befreエトモ池上併設）	東京都大田区	フィットネスジム

2027年3月期 中間期 退店実績　及び　第3四半期以降の退店予定

■ 中間期の退店実績

退店・終了時期	施設名	所在地	種別
2026年5月末	greener	千葉県市川市	アウトドアフィットネス（業務受託）
2026年5月末	ルネサンス 元氣ジム鹿児島中央	鹿児島県鹿児島市	介護リハビリ（フランチャイズ）
2026年6月末	スポーツクラブ＆サウナスパ ルネサンス あべの24	大阪府大阪市	スポーツクラブ
2026年6月末	フィットネスクラブ＆サウナ ルネサンス 住道24	大阪府大東市	スポーツクラブ
2026年9月末	スポーツクラブ＆サウナスパ ルネサンス 今里24	大阪府大阪市	スポーツクラブ

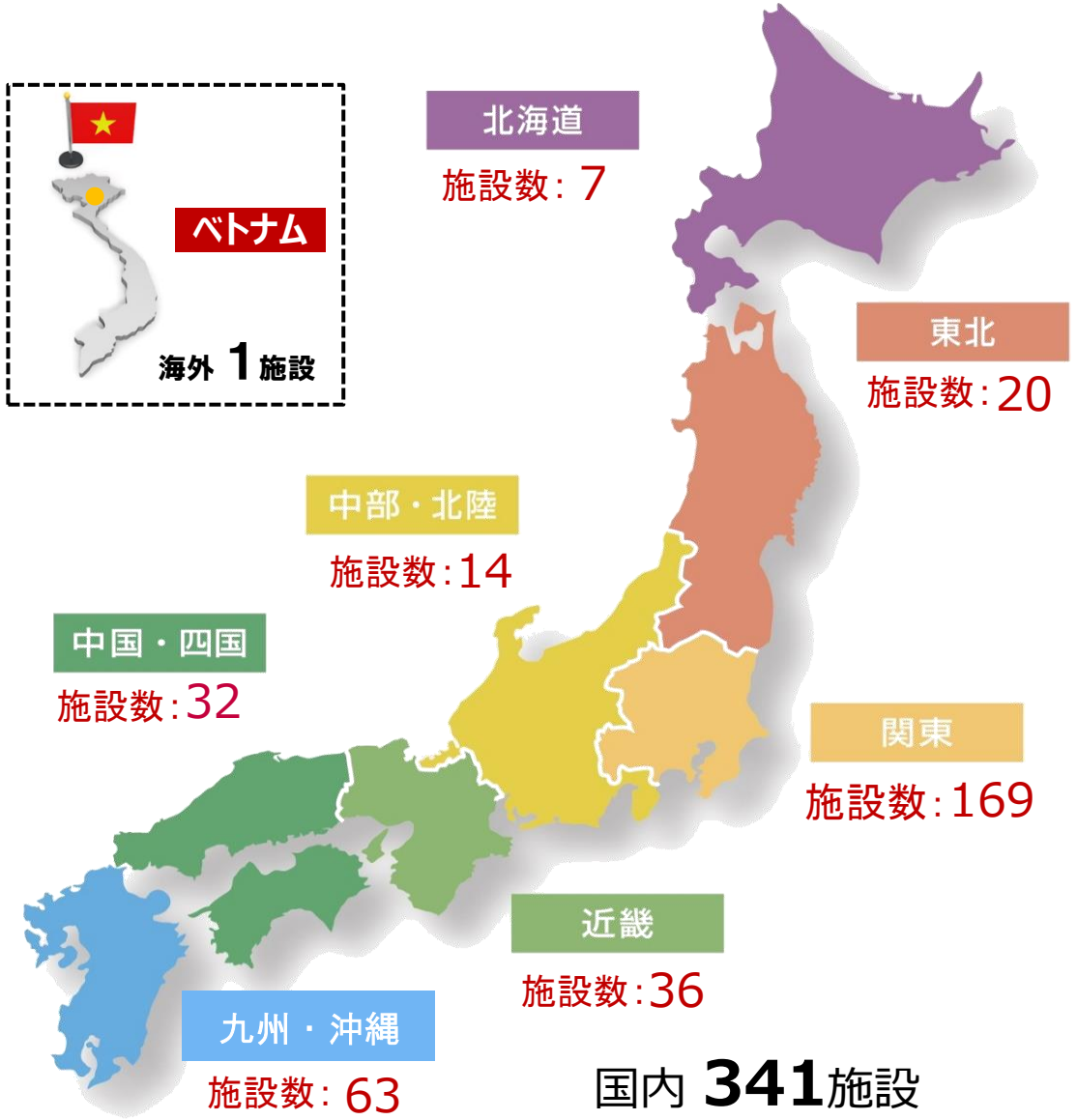
■ 第3四半期以降の退店予定

退店・終了時期	施設名	所在地	種別
2026年10月末	RIVER PARK 聖蹟桜ヶ丘	東京都多摩市	アウトドアフィットネス（業務受託）
2026年11月末	スポーツクラブ＆サウナスパ ルネサンス 梅田	大阪府大阪市	スポーツクラブ
2027年1月末	スポーツクラブ＆サウナスパ ルネサンス 江坂24	大阪府吹田市	スポーツクラブ

施設数（2026年9月末時点）

グループ合計342施設

			2026年9月末
国内	ルネサンス	スポーツクラブ施設	145
		業務受託施設	90
		運営支援	4
		スポーツクラブ施設計	239
		小型業態施設計	2
		介護リハビリ施設（直営）	44
		介護リハビリ施設（FC）	11
		介護リハビリ施設計	55
	楓の風	介護リハビリ施設（直営）	13
		介護リハビリ施設（FC）	23
		介護リハビリ施設計	36
	BEACH TOWN	アウトドアフィットネス施設	4
		業務受託施設	5
		アウトドアフィットネス施設計	9
		小計	341
海外	ルネサンス ベトナム	スポーツクラブ施設	1
		スポーツクラブ施設計	1
		小計	1
		合計	342



３．通期見通し

2027年3月期 通期見通し

通期見通しについては、スポーツクラブの新規入会が弱含みな進捗ではあるものの、2026年10月の価格改定による会費収入の増加や、さらなるコスト改善を見込み、以下のとおり売上高、営業利益、経常利益を上方修正。
なお、親会社株主に帰属する当期純利益については、一部施設における退店に伴う損失発生の可能性等を鑑み、据え置き。

（単位：百万円）

	2027年3月期（修正前予想）	2027年3月期（修正後予想）	増減率 増減額	前期実績（参考）※	前期比 増減額
売上高	68,000	68,500	+0.7% +500	64,933	+5.5% +3,566
営業利益	1,800	2,400	+33.3% +600	1,563	+53.5% +836
経常利益	900	1,500	+66.7% +600	792	+89.3% +707
親会社株主に帰属する当期純利益	500	500	－	▲ 2,102	－ +2,602
1株当たり純利益（円）	25.38	25.38	－	▲ 112.25	－
1株当たり配当金（円）	13.0 （中間4.0/期末9.0）	13.0 （中間4.0/期末9.0）	－	13.0 （中間4.0/期末9.0）	－

※前期実績は、2025年12月に取得した楓の風の取得原価の配分（PPA）の内容を反映させた金額。

４．中期経営計画の進捗状況

2026-2030中期経営計画の方針

2026年5月に発表した中期経営計画において、5か年の各期間を下表のとおり位置づけ。

2025年度

- 不採算施設の減損及び退店の決定により資産の適正化

2026-2027年度
［ フェーズ① ］

- 事業への投資の厳選
- 有利子負債の圧縮
- 新リース会計適用への対応
- スポーツクラブ事業の収支構造改革
- 本部の業務改革・効率化

2028-2030年度
［ フェーズ② ］

- 再成長への投資
- 積極的な株主還元

2026年度中間期の取組進捗

業績進捗	● 当中間期においては、売上高、各段階利益ともに計画を上回り順調に進捗
事業への投資の厳選	● 投資全般の意思決定プロセスを見直し、新たな審議体制の運用を開始 ● 安全投資を最優先とし、成長投資は事業ポートフォリオ戦略に沿ったもののみに限定 ● 不採算施設の整理を含め、将来の投資資源配分の見直しを推進
有利子負債の圧縮	● 業績の上振れ等により創出した超過キャッシュは、有利子負債の圧縮へ優先配分する方針
新リース会計適用への対応	● 2027年度の新リース会計適用に向け、財務影響の精査と管理体制の整備を推進
スポーツクラブ事業の収支構造改革	● 収益性改善に向け、意思決定済みの不採算施設の退店を計画に沿って着実に実行 ● 店舗及び事業本部の要員体制、配置の最適化を進行
本部の業務改革・効率化	● スポーツオアシス統合前の費用水準への回帰を目指し、組織・業務の効率化を推進

わたしたちルネサンスは、「人生100年時代のWell-Being共創カンパニー」を目指し、すべての人々が自分らしく輝ける社会の実現に向け、取り組んでまいります

RENAISSANCE

株式会社ルネサンス　経営企画部
【住所】　東京都墨田区両国2-10-14
【MAIL】 ml_pr@s-renaissance.co.jp
【URL】　https://www.s-renaissance.co.jp/

このプレゼンテーション資料には、2026年11月10日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれています。
世界経済・為替の変動・競合状況等にかかわるリスクや不確定要因により、実際の業績が記載の予測と異なる可能性があります。